

SHOW HEY シネマルーム

★★★★★

ストーリー・オブ・マイライフ わたしの若草物語

2019年/アメリカ映画

配給：ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント/135分

2020(令和2)年6月13日鑑賞

TOHOシネマズ西宮OS

Data

監督・脚本：グレッタ・ガーウィグ
原作：ルイーザ・メイ・オルコット
出演：シアラ・ローナン/ティ
モシー・シャラメ/フローレ
ンス・ピュー/エマ・ワトソ
ン/エリザ・スカンレン/メ
リル・ストリープ/ジェーム
ズ・ノートン/トレイシー・
レッツ/ローラ・ダーン/ル
イ・ガレル/ボブ・オデンカ
ーク/クリス・クーパー/ジ
ョイン・ハウディシェル

👁️👁️ みどころ

「四姉妹もの」の日米の代表は、谷崎潤一郎の『細雪』とルイーザ・メイ・オルコットの『若草物語』。49年版は末娘エミリーをエリザベス・テイラーが演じていたが、主人公はオルコットの分身たる次女のジョー。中学生の時に3本立て55円の映画館で同作を観て感激した時は、ジョーと同じように前向きの期待で胸を一杯にしたが、71歳になって2019年版を観ると、至るところで見るアメリカ流の善人たちの行いに涙、涙、また涙。

前作『レディ・バード』(17年)のオリジナルな物語でゴールデン・グローブ賞作品賞を受賞した女性監督グレッタ・カーウィグが、全米が混乱状態に陥っている中、こんな古典をこんなに見事に解釈して映画化するのは！

世界文学全集に縁の薄い若者は、本作必見！

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■あの女流監督があの名作を4度目の映画化！■□■

アメリカの女流作家ルイーザ・メイ・オルコットの古典的名作『若草物語』の映画化は、すでに1933年版、49年版、94年版でされているが、オリジナル作品である『レディ・バード』(17年)、『シネマ 42』74頁)で単独監督デビューし、一躍注目を浴びた女性監督グレッタ・ガーウィグが、2作目にあえてそんな古典の映画化に挑戦！

私が49年版を観たのは中学生の時。その時はまだ谷崎潤一郎の「四姉妹もの」である『細雪』を知らなかったが、南北戦争時代のアメリカの四人姉妹の姿を見てビックリしたものだ。『風と共に去りぬ』(39年)、『誰が為に鐘は鳴る』(43年)、『エデンの東』(55年)等と共に、中学生時代に3本立て55円の映画館で観た名作の数々は今なおハッキリ記憶に残っている。

■□■四人姉妹をどの旬の俳優が？■□■

『若草物語』でも『細雪』でも、四姉妹の物語では、その時代を代表するどの女優が4

人姉妹を演じるかが大きな焦点だが、本作では長女メグ・マーチをエマ・ワトソン、次女ジョー・マーチをシアーシャ・ローナン、三女ベス・マーチをエリザ・スカンレン、四女エイミー・マーチをフローレンス・ピューが演じている。49年版では主役はオルコット
の分身でもある次女ジョーだったが、さて本作は？

■□■四女は？長女は？隣人たちは？■□■

四人姉妹では、末っ子はわがままで、あくまで自分流。相場はそう決まっているが、本作でも、まさにその通り。その四女エイミー役を、49年版では『クレオパトラ』(63年)で貫禄十分な女王役を演じたエリザベス・テイラーが何とともかわいらしく演じていたからビックリしたものだ。しかし、本作では？

また、四人姉妹の長女はしっかり者と相場が決まっているが、本作でも長女メグは堅実派だ。『若草物語』では四人姉妹の父親ロバート・マーチ(ボブ・オデンカーク)は従軍牧師として、母親マーミー・マーチ(ローラ・ダーン)は留守中の家族を支える絶対的な存在として、それぞれアメリカの良心を代表するような人格だが、面白いのは、その隣家の大金持ちの存在。そのお坊ちゃまであるローリー(ティモシー・シャラメ)は四人姉妹の誰に目を付けるの？そして、ローリーの祖父で一見とつきにくい、頑固じいさん風のミスター・ローレンス(クリス・クーパー)と、ピアノが上手で病弱だが、心の優しい三女ベスとの心の交流は如何に？

49年版を観た中学生当時の私は新鮮な驚きでいっぱいだったが、71歳の今、改めてジョーを軸とした四人姉妹の生きざまを見ていると、このシーン、あのシーンで涙また涙・・・。

■□■三女ベスのピアノを通じた交流は？■□■

南北戦争に従軍中の父親ロバートを中心としたマーチ家は貧乏だが、父方の伯母で保守的な思想の持ち主であるマーチ伯母(メルル・ストリーブ)は大金持ち。彼女にとっては、自分に甘えてくる四女のエイミーだけがまともで、後の姉妹は両親を含めてみんな変わりものらしい。しかし、三女のベスはピアノを愛する物静かで繊細な女の子だから、ローレンス氏から自分の家にある古いけれども立派なピアノを自由に使っていいよと言われると、目を輝かせることに。そんなベスからの心づくしのお礼とは？

お礼やプレゼントは金額ではなく、いかに心がこもっているかが大切だが、生涯最高のお礼をもらったローレンス氏のベスへのお返しは？そんな姿を見ていると、涙もろくなった私は、またまた涙・・・。

■□■次女の小説は？結婚は？■□■

小説を書くのはそれ自体難しい作業だが、売れる小説を書くのは意外に簡単？そのコツは、出版社の編集者であるダッシュウッド氏(トレイシー・レッツ)がジョーに教えてくれるから、大いに参考になる。しかし、そんな言葉に乗って、パカパカしくかつ面白おかしい小説を書いて売ることには何の意味があるの？49年版では、ジョーのそんな迷いが大

きなテーマになっていたが、それは本作も同じだから、しっかりその展開を確認したい。

他方、“職業婦人”として生きることは、イコール結婚を諦めることが大前提。ジョーはずっとそう考え、その考え方で固定していた。そのため、幼なじみのローリーからのプロポーズも断ってしまったが、ローリーと妹のエイミーが結婚することになってしまったからアレレ……。もっとも、その後にニューヨーク時代に出会った貧乏教師フレデリック・ベア（ルイ・ガレル）がマーチ家を訪れてくると？この訪問は偶然を装っていたが、フレデリックの腹の内はミエミエ。しかして、ジョーの心の中も、実は……？

三女のベスコそ病気で死んでしまったが、その他の三姉妹はそれぞれ幸せな自分の道を選択することに。めでたし、めでたし。

2020（令和2）年6月19日記